

I 青果情報

1 8月下旬～9月中旬までの経過

気象

8月下旬に九州地方に上陸した台風10号に加えて、東日本太平洋側や岩手県で線状降水帯が発生し、記録的な豪雨となった。9月は全国的に少雨となったが、これらの地域は8月下旬の降水量だけで集計期間中の平年値を上回った。

日平均気温は全国的に平年を上回る日が続き、各地で猛暑日の日数や最も遅い猛暑日を更新する等、記録的猛暑となった。

日照時間は高気圧の影響を受け、降雨もゲリラ豪雨等短時間のものであったことにより、東日本は平年並となり、西日本では平年より長かった。一方、北日本は低気圧を受けやすかったことから平年よりやや短かった。

野菜類

入荷量

猛暑や8月末に日本上陸した台風10号の影響を受けた品目で数量減となった。「レタス類」「はくさい」では病気や傷みの発生が多く、「トマト」「きゅうり」等果菜類では着果数減につながった。一方、「にんじん」「ねぎ」は北海道を中心に潤沢な入荷となり、前年を上回る入荷量となった。

野菜全体では、8月下旬から9月中旬までの入荷量は113,765t(前年比99%)と前年並であった。

相場

「トマト」は抑制作の量がまとまる9月上旬までは不足感が強く高値で推移する等、入荷量が少なかった品目を中心に高値で推移した。一方、入荷が潤沢であった「にんじん」「ねぎ」は前年を下回る価格で推移した。

野菜全体では、8月下旬から9月中旬までの価格は320円/kg(前年比106%)と前年をかなり上回った。

果実類

入荷量

8月末の台風は果実類においては大きな影響はなく、「日本なし類」「ぶどう類」「りんご類」を中心に入荷した。

「ぶどう類」は各県のさまざまな品種が入荷し、品種により入荷量に差はあったものの、全体では前年並の入荷量となった。「りんご類」は生育順調で、前年よりも入荷量は多くなった。

果実全体では、高温の影響で日焼け果等の障害が発生したことから9月中旬に入荷量が落ち込み、8月下旬から9月中旬までの入荷量は28,950t(前年比96%)と前年をやや下回った。

相場

前月、入荷が少なく不足感のあった「日本なし類」は高めで推移した。入荷量が前年並であった品目も前年並～やや高めの価格となった。また、「みかん類」は入荷量が少なかった分、引き合いが強く高単価となった。

果実全体では、7月下旬から8月中旬までの価格は647円/kg(前年比109%)と前年をかなり上回った。